

No.	まちづくりビジョンの基本方向	タイプ	交付対象事業の名称	取組内容	交付金の種類(補助率)	実績額(事業費) 単位:円 ※連携事業の場合は本市分の事業費	本事業における重要業績評価指標(KPI)				実績値	今後の方針	
							指標	指標値	単位	目標年月			
1	4-5 皆生温泉のまちづくり	地方創生推進タイプ	海・砂浜・温泉街を活用した「白砂青松の海遊リゾート」創生による皆生温泉まちづくり推進プロジェクト	<p>1皆生温泉振興組織の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間主体のまちづくりのプラットフォーム「皆生温泉エリア経営実行委員会」の活動を継続し、住民を対象としたまちづくり講座やワークショップの開催、情報誌やポータルサイトなどによる活動の情報発信を行った。 引き続きまちづくりの外部アドバイザーを登用し、前年までの活動において抽出された課題への支援対応等を行い、振興組織の育成を図った。 <p>2ビーチの新たな利活用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 砂浜に面した海岸遊歩道への人流増加を目的とし、まち歩きを促す社会実験を実施することで、年間を通じた海・砂浜の利活用を促進した。 新たな海岸遊歩道の活用のコンテンツとして「パーティバイク(9人乗り自転車)」を購入し、今後の活用方法を検討した。 <p>3海と温泉街の一体感の醸成(海岸遊歩道等における付加価値創出)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「皆生みらいの灯りコンセプト」に基づく海岸遊歩道の街灯整備を地元旅館等の意見を伺いながら進めた。 旅館等の空き地や海・砂浜、空き店舗を活用する社会実験の実施を通じて、未利用地・空き物件の活用機運醸成が図られた。 <p>4メインストリートの活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> メインストリート沿いの松林等に飲食屋台や憩いの空間を設置し、来訪者の回遊を促すまち歩き社会実験を実施し、エリア内への人流増加を促進した。 空き不動産の活用につながる物件ツアーなどを実施し、5件の新規開業を実現した。 	①デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)(1/2)	30,626,043	指標①	砂浜を含む皆生温泉ライン周辺における新規造成店舗・体験コンテンツ等滞留・消費拠点への入込客数	R5年度において 67,200	人	R6.3	89,000	<p>引き続き、振興組織「皆生温泉エリア経営実行委員会」を中心に以下の方針で事業展開する。</p> <p>【ハード事業】 R4年度から5年度にかけて実施した海岸遊歩道の灯り整備に続き、R6年度から海岸遊歩道滞留拠点整備事業を実施し、遊歩道への人流増加及び滞在時間延長に取り組む。</p> <p>【ソフト事業】 引き続きエリア内の空き不動産の活用機運醸成や事業者誘致に取り組むとともに、皆生温泉への来訪者や宿泊者の増加につながる情報発信等に取り組む。</p>
							指標②	SNSのポジティブ投稿数	R5年度において 29,900	件	R6.3	47,000	
							指標③	米子市観光入込客数	R5年度において 1,108,000	人	R6.3	9月頃公表予定(県)	
							指標④	皆生温泉入湯客数	R5年度において 441,585	人	R6.3	408,391	
2	4-7 広域連携による観光振興	地方創生推進タイプ	<p>「観光から関係人口・企業移転」までを「標高0mから大山頂上」で切れ目なく受け入れ、来訪者の幸せ実現をめざす大山・日野川圏域</p> <p>鳥取県と鳥取県中西部圏域の11市町村で策定した地域再生計画(「観光から関係人口・企業移転」までを「標高0mから大山頂上」で切れ目なく受け入れ、来訪者の幸せ実現をめざす大山・日野川圏域)が国から認定された。令和5年度は、当該計画に基づき、地方創生推進交付金を活用して、下記の事業を実施した。</p> <p>Yonagoマチノヒカリ2023、弓ヶ浜サイクリングコース魅力向上事業、[弟子旅]達人と行く!源流自然体験、日野川源流のエコツアーの世界、刀剣たたら関連事業(出雲圏域との連携)、太平記ウォーク、サイクリング聖地化事業、サイクリング岡山県との連携事業、東大山・蒜山サイクルツーリズム推進事業、関係人口創出・拡大事業、地域収益向上事業、関係人口・地域収益モデル確立支援事業(補助金)、広域観光・交流共通基盤事業、広域体制整備検討事業</p>	①デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)(1/2)	8,818,445	指標①	大山・日野川圏域への再来訪意向	R5年度において 70	%	R6.3	74%	<p>引き続き、認定された地域再生計画『「観光から関係人口・企業移転」までを「標高0mから大山頂上」で切れ目なく受け入れ、来訪者の幸せ実現をめざす大山・日野川圏域』に基づき、交付金を活用して取り組むこととしている。</p> <p>現行交付金計画(R3～5)終了後に向けて、令和6年度以降の新たな財源確保、事業の見直し及び更なる民間参画の推進に向けた調整を進めていく。</p>	
						指標②	本事業を通じた関係人口支援人数	R5年度において 700	人	R6.3	3,019人		
						指標③	モデル事業者における売上・収益目標の達成比率	R5年度において 70	%	R6.3	47%		

No.	まちづくりビジョンの基本方向	タイプ	交付対象事業の名称	取組内容	交付金の種類(補助率)	実績額(事業費) 単位:円 ※連携事業の場合は本市分の事業費	本事業における重要業績評価指標(KPI)				実績値	今後の方針	
							指標	指標値	単位	目標年月			
3	2-7 多文化共生社会の実現	地方創生推進タイプ	中海・宍道湖・大山圏域台湾との経済交流促進による中小企業活性化事業	<p>行政(圏域市長会)と企業(ブロック経済協議会)が連携して、「中海・宍道湖・大山圏域市長会と台北市との交流促進覚書」に基づき海外展開支援を行うため、令和5年度は下記の事業を実施した。</p> <p>1. 支援組織の設立・運営 ・事業推進のための支援組織(構成各市、鳥取県西部町村会、ブロック経済協議会、圏域観光局、JETRO)を2月2日に立ち上げ。</p> <p>2. セミナー等の開催 ・台湾での経済活動促進、FOODTAIPEI に向けたセミナーの開催。</p> <p>3. 圏域内企業のシーズ及び台北市のニーズ調査の実施 ・台湾進出にかかる相談サポート事業の実施(事務局とのオンライン会議等も実施) ・圏域企業への台湾に係る意識調査 期間:1月9日(火)~2月6日(火) 回答数:254件(回収率:38.7%)</p> <p>4. 域内企業の「フード台北」、「TJ Connect Fair」等への参加を支援 ・「フード台北(台北国際食品展)」への出展。 圏域内参加企業:2社</p> <p>5. 春節前建国花市及び台北温泉祭りを活用した圏域情報発信(台北温泉祭) 期間:11月1日(水)~11月6日(月) 圏域観光PR実施。 参加:皆生温泉旅館組合(米子市)(春節前建国花市) 期間:2月3日(土)~2月9日(金) 圏域観光PR、圏域物産PR、文化交流イベントを実施。</p>	①デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)(1/2)	2,428,928	指標①	境港(さかいこう)における台湾との貿易額(貨物の通関額)	R9年度において 4,800 ※R5目標:4,730	百万円	R6.3	3,257	<p>引き続き、認定された地域再生計画に基づき、交付金を活用して取り組むこととしている。</p> <p>令和6年度は台湾・圏域内企業の調査を踏まえ、商品の明確なターゲット、コンセプト設定や、効果的なプロモーションの提案等、売れる商品の開発を支援する予定。</p> <p>また、交付金対象ではないものの、国の外国人材による地方創生支援制度(内閣府)を活用し、専門性の高い台湾人材を雇用することで、本計画事業のボトルネックとなっている対応できる人材・ノウハウの不足、海外取引リスクへの不安解消をより円滑に図り、より一層の圏域内企業の経済活動の促進をめざしていく。</p>
							指標②	商談会等におけるマッチング件数の割合	R9年度において 50 ※R5目標:30	%	R6.3	集計中	
							指標③	商談会等における成約及び成約見込み数の割合	R9年度において 30 ※R5目標:10	%	R6.3	集計中	
							指標④	台湾向け商品の作成・提案件数	R9年度において 20 ※R5目標:0	%	R6.3	0	
4	-	デジタル実装タイプ(TYPE1)	スマートスピーカーを活用した高齢者の見守り事業	<p>75歳以上の市内在住の高齢者の自宅にスマートスピーカーを設置し、日本郵便(株)が提供する「スマートスピーカーを活用した高齢者みまもりサービス」を利用することで、デジタル技術を活用した家族等による高齢者の見守りを行った。また、日本郵便(株)による月1回の見守り訪問により、スマートスピーカーの利用促進についてのフォローを実施した。</p> <p>※同交付金の交付はR4年度のみ。R5実績額(事業費)はすべて一般財源。</p>	②デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)(1/2)	825,110	指標①	利用者からの返答率	R6年度において 90 ※R5目標:80	%	R6.3	70	<p>スマートスピーカーの利用を希望された方が継続して利用することにより、孤立化を防ぎ、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう、日本郵便(株)による月1回の見守り訪問によるスマートスピーカーの利用促進についてのフォローを実施する。</p>
							指標②	利用満足度(本人及び家族)	R6年度において 95 ※R5目標:85	%	R6.3	78	

No.	まちづくりビジョンの基本方向	タイプ	交付対象事業の名称	取組内容	交付金の種類(補助率)	実績額(事業費) 単位:円 ※連携事業の場合は本市分の事業費	本事業における重要業績評価指標(KPI)				実績値	今後の方針	
							指標	指標値	単位	目標年月			
5	6-1 すべての人がスポーツに親しむことのできる環境づくり	デジタル実装タイプ(TYPE1)	学校開放事業のオンライン利用予約および遠隔鍵管理	1. オンライン予約システムの導入 学校体育施設(体育館及びグラウンド)の予約がいつでも・どこからでも可能となる、オンライン予約システムの構築、導入を行い、R6.3月より試験運用を開始した。	②デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)(1/2)	16,629,800	指標①	施設の利用者数	R7年度において 390,000 ※R5目標:350,000	人/年度	R6.3	未集計	引き続き、オンライン予約システムを活用し学校体育施設の貸し出しを行っていく。令和6年度においては、予約システムの本格稼働に伴い、利用者数の増を見込んでいる。また、システム化後の運用と並行し、デジタル弱者に対する電話や窓口でのサポートを行っていく。
				2. オンライン予約システムと連携可能な電子錠付きキーボックスの取付 米子市内の小中学校34校の体育館出入口に電子錠付きキーボックスの取付を行った。また、電子錠の安定運用のため、各校体育館にアクセスポイントを設置した。			3. オンライン決済システムの導入 予約時にオンライン決済による使用料の支払いが可能となるオンライン決済システムの導入を行った。	4. 利用者向け説明会の開催 予約システムの試験運用の開始に先がけ、学校体育施設開放事業利用団体向けの説明会を実施し、学校体育施設開放事業のデジタル化の概要及び予約システムの基本操作方法等についての説明を行った。	指標②	予約システム導入の満足度	R7年度において 3.5 ※R5目標:2.5		
6	-	デジタル実装タイプ(マイナンバーカード利用横展開事例創出型)	米子市ヘルスケアプラットフォーム実装事業	行政・医療・民間事業者等によるコンソーシアムを構築し、①地域共通デジタル診察券 ②フレイル対策 ③地域情報ポータル の3機能を軸にマイナンバーカード連携アプリを実装し、well-beingを実現するデジタルサービスとして、全世代の市民に提供するもの。	②デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)(10/10)	283,537,408	指標①	地域共通デジタル診察券アプリの利用登録者数	R7年度において 50,000 ※R5目標:10,000	人数	R6.3	0	コンソーシアムを中心にアプリの普及啓発に取り組み、利用登録者数やダウンロード数の増加を図ることにより、デジタルを活用した効率的な医療の提供、市民の健康寿命の延伸、地域コミュニティの活性化を目指す。併せて、本システム・アプリの他地域への横展開に係る取組も行っていく。 ※目標値は交付金申請時点(R5.3)
				令和5年度は、システム・アプリの開発・構築を行い、順次サービスの提供を始めている。 令和5年7月 フレイルアプリリリース 令和6年3月 転院調整システムリリース 令和6年4月 コンソーシアム構築(一般社団法人の設立) 令和6年夏頃 地域共通デジタル診察券、他病院紹介システム、統合カルテ、地域情報ポータルリリース予定(同時にフレイルアプリとの連携開始)			指標②	フレイルチェックの回数	R7年度において 30,000 ※R5目標:20,000	回数	R6.3	11,100	
				指標③			アプリのダウンロード数(ポータルサイト「よなごーごー」)	R7年度において 100,000 ※R5目標:20,000	ダウンロード数	R6.3	0		
				指標④			医療に関する事務コストの削減時間	R7年度において 23,725 ※R5目標:7,300	時間	R6.3	未集計		
				指標⑤			健康状態の改善度(フレイル予防実践教室利用者)	R7年度において 80 ※R5目標:60	%	R6.3	61		
				指標⑥			ポータルサイト「よなごーごー」アプリの月間PV数	R7年度において 300,000 ※R5目標:100,000	PV数	R6.3	0		

【凡例】

交付金の種類

- ①デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ):「地方版総合戦略」に定められた地域再生計画に基づく事業の実施を支援すること目的とする交付金(補助率1/2)。
- ②デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ):デジタルを活用して地域の課題解決や魅力向上に資する取組を支援すること目的とする交付金(補助率1/2又は10/10)。